



平成 27 年 6 月 2 日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラビテクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号: 4 5 7 6)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 0 5 2 - 2 1 8 - 8 7 8 5

眼科用鎮痛剤に関する導入契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、英国企業が開発中の眼科用鎮痛剤につきまして、日本における再実施許諾権付独占的開発権・製造権・販売権を取得するライセンス契約を締結することを決議し、本日付で契約締結いたしましたので、お知らせいたします。

本契約に基づき、当社は本剤の眼科領域を対象とした開発を進めてまいります。

本剤は、英国企業の第三者ライセンシーによって、欧米で開発が進められております。本剤の適応症は白内障^(注1)術後の疼痛緩和、PRK^(注2)術後の疼痛緩和となっております。日本における白内障の年間手術件数は約 130 万件¹、エキシマレーザーによる屈折矯正手術（PRK 及び LASIK^(注3)）の累積手術件数は推定 110 万眼を超える²と言われており、今後も一定規模の市場が確保できると推測しております。当社は、欧米での開発状況を踏まえて国内での開発に向けて取り組んでまいります。

当社は、基礎研究に特化したバイオベンチャーであります。本剤の導入によりパイプラインの拡充を進めると共に、今後は基礎研究のみならず開発領域にも事業進出してまいります。これにより、将来にわたる収益性の向上に寄与するものと当社は判断しております。

本契約の締結に伴い、契約一時金を支払います。また、開発段階に応じたマイルストーン、販売後は販売額に応じたロイヤリティを支払うことになっております。

なお、英国企業の会社名および本契約に係る各財務条件につきましては守秘義務上、非開示となります。

なお、本件による平成 27 年 12 月期の業績に与える影響は軽微であります。

以 上

¹ 出典：一般社団法人日本眼科医療機器協会「Annual Report 2014」

² 出典：財団法人日本眼科学会「エキシマレーザー屈折矯正手術のガイドライン」2009

用語解説

(注1) 白内障

水晶体が白く濁り、視力障害を引き起こす病気です。主な原因は加齢によるもので、症状が進行している場合には、濁った水晶体を取り除き眼内レンズを挿入する手術が行われます。

(注2) PRK

エキシマレーザーによる視力回復手術の一種で、角膜の表面を剥離し、レーザー照射を行います。その後は、角膜の自然再生を待つ術式となるため、痛みが強く、治るまでに時間がかかります。

(注3) LASIK

エキシマレーザーによる視力回復手術の一種で、角膜の表面を蓋状に削り、フラップを作ります。レーザー照射後、フラップを元の状態に戻すと角膜が自然に吸着します。術後の痛みは少なく、視力の回復も早いと言われています。